コード No. 10359

Anti-Human
ERK (Clone 5) Mouse IgG MoAb

容量 : 100 µg

はじめに : Mitogen-Activated Protein (MAP) キナーゼファミリーに属する細胞内シグナル伝達分子は、細胞応答に中心的役割を演じています。代表的なものとして Extracellular Signal-Regulated Kinase (ERK)、c-jun amino-terminal kinase (JNK)、p38 が知られています。ERK は本ファミリーの中で最もよく研究されているキナーゼであり、細胞増殖や分化など細胞の運命を決定づける局面で機能する重要なキナーゼです。
本抗体は ERK1 と ERK2 に反応します。

免疫抗原 : Human ERK1 のリコンビナントタンパク質

起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ(腹水)
(NS-1 × ddY マウス脾臓細胞)

クローン名 : Clone 5 サブクラス : IgG_1, κ

精製方法 : Protein A 精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN_3 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加（この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2～8 °C 保存 5 年間安定
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : ウエスタン･ブロッティング 1～5 µg/mL にて使用可能

特異性 : ERK1 と ERK2 に特異的に反応します。

株式会社 免疫生物研究所
〒375-0005 群馬県藤岡市中 1091-1
電話：0274-22-2889 FAX：0274-23-6055
E-mail: do-ibl@ibl-japan.co.jp
URL: http://www.ibl-japan.co.jp